

吉原二中校区の 子どもの実態

- ・学校は楽しいと感じている。
- ・まじめに学習に取り組む。
- ・友達と仲良く生活している。
- ・教員と信頼関係が築かれている。
- ・自己肯定感が低い。
- ・いじめもゼロではない。

保護者・地域の願い

- ・学習に熱心に取り組む姿
- ・他者を思いやる優しさ
- ・日常の気持ちの良い挨拶
- ・地区の一員としての自覚

義務教育9年間で付けたい力

**「夢や目標を持ち
たくましく生きる力」**

令和3年度 小中一貫教育を進めるための重点
道徳教育 SDGs と探究学習 学校評価

三校共通

(学校教育目標) **学び合い 心をつなぎ合う生徒**

(重点目標) **幸せに気付く生徒**

吉原二中の生徒の実態

- ・学校が楽しい 89.7%
- ・進んで挨拶する 79.8%
- ・授業は分かりやすい 90.4%
- ・授業で自分の考えを伝えている 73.1%
- ・部活動が楽しい 86.6%
- ・自分には良いところがある 67.8%
- ・将来の夢や目標がある 73.5%

富士市 教育振興基本計画

学び合い、学び続ける
「ふじの人」づくり

令和3年度 富士市立吉原第二中学校 グランドデザイン

Plan

ありのまま

- 安心してありのままの自分を受け入れることのできる働き掛け、態度(教員の基本姿勢)
 - ★生徒理解
 - ・やさしい話し方、あたたかな聴き方の徹底
 - ・日記や教育相談を活用し、生徒の悩みや課題に寄り添う。
 - ★安心できる人間関係と雰囲気作り
 - ・人間関係づくりプログラムやQ-U、インターの活用
 - ・個への直接的な関わり、肯定的な声掛け
 - 充実感や達成感を得ることが出来る働き掛け、態度
 - ★授業作り
 - ・「できた!」「分かった!」が実感できる授業
 - ・学びの記録や成果を可視化する。タブレットを活用する。
 - ★特別活動
 - ・一人一人に活躍の場を与え、責任を持たせる。
- 自分には良いところがある 70%以上
学校は楽しい 90%以上

感謝する

- 命を大切にする。生きていることに感謝する。
 - ★道徳教育の充実
 - ・「思いやり、感謝」「相互理解、寛容」「生命の尊重」「よりよく生きる喜び」を重点項目とする。
 - ・月に1度「幸せに気付く小さな道徳」を行う。
 - ★キャリア教育の推進
 - ・「シツクリ」プロジェクトへの参加や出前授業等で、地域に生かされていることを知り、夢や目標を持てるようにする。
 - ★SDGsの推進
 - 地域とのつながりを大切に、地域に感謝する。
 - ★地域人材やふれあい協力員の活用
 - ・年間28回の民生委員、保護司による「ふれあい参観」を実施し、アンケート結果を学校改善に生かす。
 - ・地域に学校の情報を積極的に発信し、感謝を伝える。
- 将来の夢や目標がある 75%以上
ボランティアや地区の行事に参加 75%以上

Do

やってみる

- 興味・関心、知的好奇心を持って、挑戦する。
 - ★JRC活動の推進
 - ・「気付き、考え、実行する」奉仕の精神を継続する。
 - ・小学校と連携し、WAC(地域美化活動)に取り組む。
 - ★自主学習の推進
 - ・自主学習ノートへの取組を充実させる。
 - ・AIドリル等で、自分のペースで学ぶ楽しさを感じさせる。
 - ・「二中タイム」で基礎基本の定着をはかる。
 - 自分の知・徳・体を向上させるよう、やってみる。
 - ★生徒の挑戦を支援する
 - ★教員の資質向上
 - ・趣味や特技を深め、教員が資質向上に努め、生徒から憧れられる魅力的な人間になる。
 - ・働き方改革に取り組む。
- 家庭学習が習慣になっている 70%以上

前を向く

- 「半歩でもいいから前に進もう」
 - ★「幸せであること」「人生は素晴らしいこと」
 - ・失敗してもやり直せることを伝える。
 - ・善行賞や「いいところ見つけ」で、良さを認める。
 - 温かく、心に響く生徒指導
 - ★信頼の貯金
 - ・普段からの関わりで、保護者や生徒からの信頼を得られるよう努める。
 - ★チームでの指導
 - ・SC、SSW、養護教諭、支援員やその他関係機関と連携し、随時ケース会議を行い支援する。
- 心配ごとや悩みを相談できる先生がいる 75%以上

Action

学校評価各種アンケート(生徒・保護者・学校評議員)

100%を目指し、見直し、改善を重ねる。保護者や地域に、積極的に学校を公開する。
小学校との交流・つながりを大切に、小中一貫教育を推進する。

Check